

授業科目名	保育実習指導 I		担当教員名	森下 真由美 入江 実
必修/選択	必修(保育士資格)	開講学年・学期	1/2/3年 期間(年間開講数 1講座)	
科目区分	保育に関する科目	単位数	2単位(60時間)	
施行規則に定める科目区分等		授業方法/担当形態	演習 / オムニバス	
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 保育士として長年にわたる実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。/児童養護施設主任児童指導員としての実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。	
授業の到達目標				
授業の概要	保育士の資格を取得するための必修科目である。保育実習の目的、内容、方法を理解し、実習生として必要な知識・技術を習得し、実習に対する意欲を高める。事前指導においては、実習における学びを有意義なものとするために、保育所実習の意義・目的を理解するとともに、実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。また、観察や記録の仕方、内容などについても学習する。事後指導においては、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。			
テキスト	「実習ハンドブック」大阪教育福祉専門学校編著			
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社) 『月刊 保育とカリキュラム』(ひかりのくに) 『よくわかる保育所実習』(創成社) 新聞記事等			
成績評価の方法	出席状況と授業の取り組み姿勢、提出物の内容等により総合的に評価			
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	事前指導①(1年次・保育所) 保育所とは(保育時間・保育年齢・職員・遊びと生活等) 実習の意義・目的を理解し、実習内容を把握する 実習生の立場と心構え 保育実践(絵本の読み聞かせ及び手遊び)について ※資料参照			(1),(2),(3)
第2回	事前指導②(1年次・保育所) 実習園での事前オリエンテーションに際しての心構え “あなたならどうしますかアンケート”より注意事項確認 ※資料参照 ペアサート等保育実践準備物確認 実習研究課題について考察する ※資料参照			(1),(2),(3)
第3回	事前指導③(1年次・保育所) 実習記録の記入の実践 設定保育指導案について(年齢別保育内容) ※資料参照			(1),(2),(4)
第4回	事後指導①(1年次・保育所) 保育現場での子どもの実際と保育者のかかわりについて 実習配属クラス別グループ討議を通して振り返る			(1),(2),(5)
第5回	事後指導②(1年次・保育所) 保育現場での子どもの実際と保育者のかかわりについて 実習配属クラス別グループ発表を通して学び合う 実習生として自己反省、評価をし、次回への課題を明確にする			(1),(2),(5)
第6回	事前指導①(2年次・保育所) 保育実習の意義・目的を理解し、実習内容を把握する 基礎実習における実習のポイント 実習記録記入について理解を深める 研究課題について 質問事項の確認			(1),(2),(3),(4)
第7回	事前指導②(2年次・保育所) 設定保育指導案作成 6月の保育内容について			(4)
第8回	事後指導①(2年次・保育所) 実習生として学んだことを確認する 次回に活かすための評価・反省をする			(1),(2),(5)
第9回	事前指導①(3年次・施設) 見学実習(施設見学ガイドス含む) 見学予定先の「社会福祉施設」の概要についての知識的理解			
第10回	事前指導②(3年次・施設) 施設における子どもの生活と保育士の援助や関わり 施設役割と機能			
第11回	事前指導②(3年次・施設) 子どもの観察とその記録 個々の状態に応じた援助や関わり			
第12回	事前指導③(3年次・施設) 計画に基づく活動や援助 子どもの心身の状態に応じた生活と対応 子どもの活動と環境 健康管理、安全対策の理解			
第13回	事前指導④(3年次・施設) 支援計画の理解と活用 記録に基づく省察・自己評価 職員間の役割分担や連携 保育士の役割と職業倫理			
第14回	事後指導①(3年次・施設) 施設種別グループ討議 施設ごとの違いから、共通している大切にしたいことを確認する			

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第15回	事後指導②（3年次・施設） 施設種別グループ発表 様々な種類の施設についての報告から学ぶ 施設における様々な役割について考察する	
第16回	事後指導③（3年次・施設） 総まとめ	
定期試験	定期試験は実施しない	